

【樹木・草花の部屋】

ナナミノキ (モチノキ科モチノキ属 Ilex chinensis)

和名；ナナミノキ **別名**；ナナメノキ、カシノハモチ **英名**；
ニシキギ目 常緑高木 雌雄異株

原産地；静岡県以西、中国

花言葉； **花の色**；淡紫色



← 写真-1 ナナミノキの樹形 (手前の木)

撮影日：2012年11月2日

撮影場所：馬見丘陵公園にて

撮影者：Tさん

馬見丘陵公園で、近くで枝の先まで見られるところを紹介していただきました。写真-2では、うっそうとしていて幹肌しか見られませんでした。雌雄異株で実のなる木とならない木があるそうです。モチノキ科に属し、クロガネモチと似ています。どんな実がなるか楽しみにしていました。一説には、七実とか、長実がナナミに変わったと聞きました。きっと素敵な実なのでしょう。

写真-2 ナナミノキの幹肌 ⇒

撮影日：2012年7月21日

撮影場所：馬見丘陵公園にて

撮影者：Tさん

幹は直通で、樹肌はなめらか、葉は皮革質です。はじめ、斜めに生えているのでナナメノキかと思いましたが、斜めにさげやすいとのことでした。高木で、ここでは、葉も実も見られませんでした。モチノキ科の多くは花の色が淡緑色や白色が多いので、薄紫の小さな花が咲くナナミノキの区別に役立つといえます。どんな花でしょう。

ナナミノキは、比較的成長が早く他の樹木から抜きんでていることが多い。陽樹の性格が強く世代交代が難しいので衰退に向かいやすい。実生で育てるのも難しい。



【樹木・草花の部屋】

写真-3 ナナミノキの葉と実 ↓

撮影日：2012年11月2日

撮影場所：馬見丘陵公園にて

撮影者：Tさん



年によって実の付け方は違いますが、今年は、少ないほうか？遠くで見るとそんなではないが、よく見ると、すてきな形の実だと思う。「名の実」 名のある実が由来だという説は説得力があると思う。名の実→ナノミ→ナナミノキ。現代的には、ハナミズキやサンシュウの赤い実も大きめで、こちらの方が「名のある実」と言えるかも。

<ちょっと一言>

雌雄異株であり、6月ごろ開花。薄紫色の小さな花を咲かせる。葉腋に花序を形成し雄株には たくさん花がつく。果実は秋に実り、赤く熟して美しい。勢いのある若木では枝が伸びすぎてやや果実は間延びしてつくが、成長した木では、枝先があまり伸びず、まとまりの良い果実の付き方になる。

ナナミノキの名の由来は、前にも出ているのでまとめると、枝を折ると斜めに折れるので、ナナメノキだから。たくさん実をつけるから七実（七はたくさんを表す意）からナナミ 長丸の実から長実 ナガミ、ナナミに。美しい実から名の実（名の木のようにみんなが知っている有名な木、美しい木のように）ナノミからナナミに。幹肌が波打って見えることから、奈波からナナミなどという説もあります。

公園樹にも庭木にも使われます。ナナミノキを植えたい場所は、よく日の当たる場所です。日差しに強いこの樹種は 目隠しになったり強い日差しを遮ってくれたりします。

その後のナナミノキ

11/16 馬見自然塾に参加しました。赤い実を集めて「ネイチャービンゴ」に興じました。その時のナナミノキの報告です。

クロガネモチ・ソヨゴ・ニシキギ・ヤブコウジ・サンシュユ・ナナミノキと赤い実を発見しました。

なかでも、ナナミノキの実はいっぱいついていました。‘七’は‘たくさん’を意味すると言うとおりです。葉はシラカシと区別が付きにくいです。またナナミノキでは雄株・雌株を観察しました。

【樹木・草花の部屋】

写真-3 ナナミノキの葉と実 ↓

撮影日：2013年11月16日

撮影場所：馬見丘陵公園にて

撮影者：Tさん



ナナミノキ雌株
左 樹形、右上 葉と実



ナナミノキ雄株
左 樹形 右 葉